

日々どんどん成長していく子どもたち。クラスの友達、他クラスのお兄さんお姉さんたちにたくさんの刺激をもらいながら、遊びの様子も日々変化していきます。今月号は、そんな変化していく遊びの様子をご紹介します。

どんどんリアルになるおままごと

少し前までは“大人と一緒に弁当やご飯をつくる”ということがメインだったおままごと。今では、保育園や家庭の様子が再現されたリアルなものになってきました。



押入れ下のスペースにちゃぐ台を置いてみると、なにやら荷物を持った子どもたちが…。

「きょうは、いそがしかった?」「ちょっとつかれちゃったから、ごはんにしよう」とまるで大人のような会話をしながらご飯の時間を楽しんでいました。



リアルに再現するお友達を見て、真似をして楽しむ子どもたちの姿も。お友達が盛り付けたご飯をさらに小皿に乗せているのを見て、「こうかな…」と真似てみたり、電話をしている様子を見て同じように電話を持ってきて真似たりと、どんどん遊びが広がっていきます。

お人形のお世話もどんどん変化していきます。ある日、「よごれちゃったから、おきがえしようね」と声をかけながら洋服を脱がせ、「あし、だよー」と言いながらズボン履かせている子の姿が。少し前まで“脱がせる”ということを楽しんでいたのに、いつの間にか着せることもできるようになり、さらに優しく声をかけている姿はまるで小さなお母さんのようでした。



順番など、ルールを守って遊ぶ姿も…

少し前までは「じゅんばんこ」と言いながらも押し合い、自分が！と主張していた子どもたち。最近では、大人が声を掛けるよりも先に「じゅんばんね」「10 ときしゃポッポまでしたら、こうたいね」と自分たちで話をして待つ姿が見られるようになってきました。



みんなで「さかなつりがしたい!」と、魚の色塗りをして準備した魚釣りセット。青い布団を海に見立てて魚を泳がせると、「はいるとぬれちゃう」と自分たちで椅子を持って来て座って魚釣り。「いっこしたら、じゅんばんね」と自分たちで約束を決めて遊んでいました。



一本橋やはしご等の運動遊びも、どんどん姿が変わっていきます。はしごを跨ぐようにして遊んでいた子も、少しずつ手と足を使って渡れるようになってきました。そんなお友達の姿を見て、「こうやってやるのかな…」と真似をしながら挑戦する子の姿もあります。

一本橋なども、「おさないよね」「ゆっくりね」と声をかけ合いながら楽しめる時間が増えてきましたよ。

まだまだ一人遊びも楽しい!

お友達と一緒に楽しくなってきたけれど、まだまだ一人遊びも楽しい子どもたち。段ボールで作った仕切りを上手く組み合わせて坂道をつくって車を走らせたり、自分と同じくらいの高さを目指して積み木をどんどん積み上げたりと、それぞれに面白いことを考えて楽しんでいます。

